

セクシュアリティと看護 (Sexuality and Nursing)

	1年次	後期 27年11月24日(火)～ 毎週火曜日	1単位(15H)
担 当 者	高 知恵,町浦 美智子,古山 美穂,佐保 美奈子		
授 業 目 標	<p>ヒューマン・セクシュアリティの概念について学び、人間の性、生き方を洞察しながら、各自のセクシュアリティ観を育む。さらに看護職者としてさまざまなライフサイクル及び健康レベルにある人々のセクシュアリティとその看護について基本的態度も含めて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヒューマン・セクシュアリティの概念を理解する 2. 自己のセクシュアリティについて考える 3. 現代社会におけるセクシュアリティの問題・課題を認識できる 4. 看護職者として、対象を尊重した態度や価値観とはどうあるべきか考える 		
授 業 の 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマン・セクシュアリティとは何か？ <ul style="list-style-type: none"> 基本的人権としての性・セクシュアリティ、性の多様性：生物学的性、性同一性、ジェンダー・アイデンティティ、性的指向、リプロダクティブヘルス/ライツ ・ライフステージにおけるセクシュアリティの特徴と課題 ・さまざまな健康レベルにある人のセクシュアリティと看護 ・性感染症と予防教育 ・コミュニティ基盤のセクシュアリティ支援 ・セクシュアリティ教育の課題と展望 		
授業時間外の学習について (準備学習等)	自分のセクシュアリティはどうか、また看護職者として態度や価値観はどうあるとよいかを考えるために、セクシュアリティに関する本や文献を読み、性教育や人権教育の実践を見学したり、研修会に参加したりして学びを深めてください。		
教 科 書	特になし		
参 考 書	部山キヨ子・武谷雄二編(2014):助産学講座2 基礎助産学2 母子の基礎科学,医学書院		
関 連 科 目	家族支援看護学概論:母性、疾病・治療論C、医療遺伝学、生命倫理学		
試験・成績評価	出席状況、講義への参加度(30%)、課題レポート(70%)により評価する。		
備 考			